

聖パウロ学園 同窓会会報

第4号

平成6年7月20日発行

発行所

聖パウロ学園内
同窓会事務局
〒525
草津市野路町178
☎0775-64-5600

新会長に内田氏(四期)

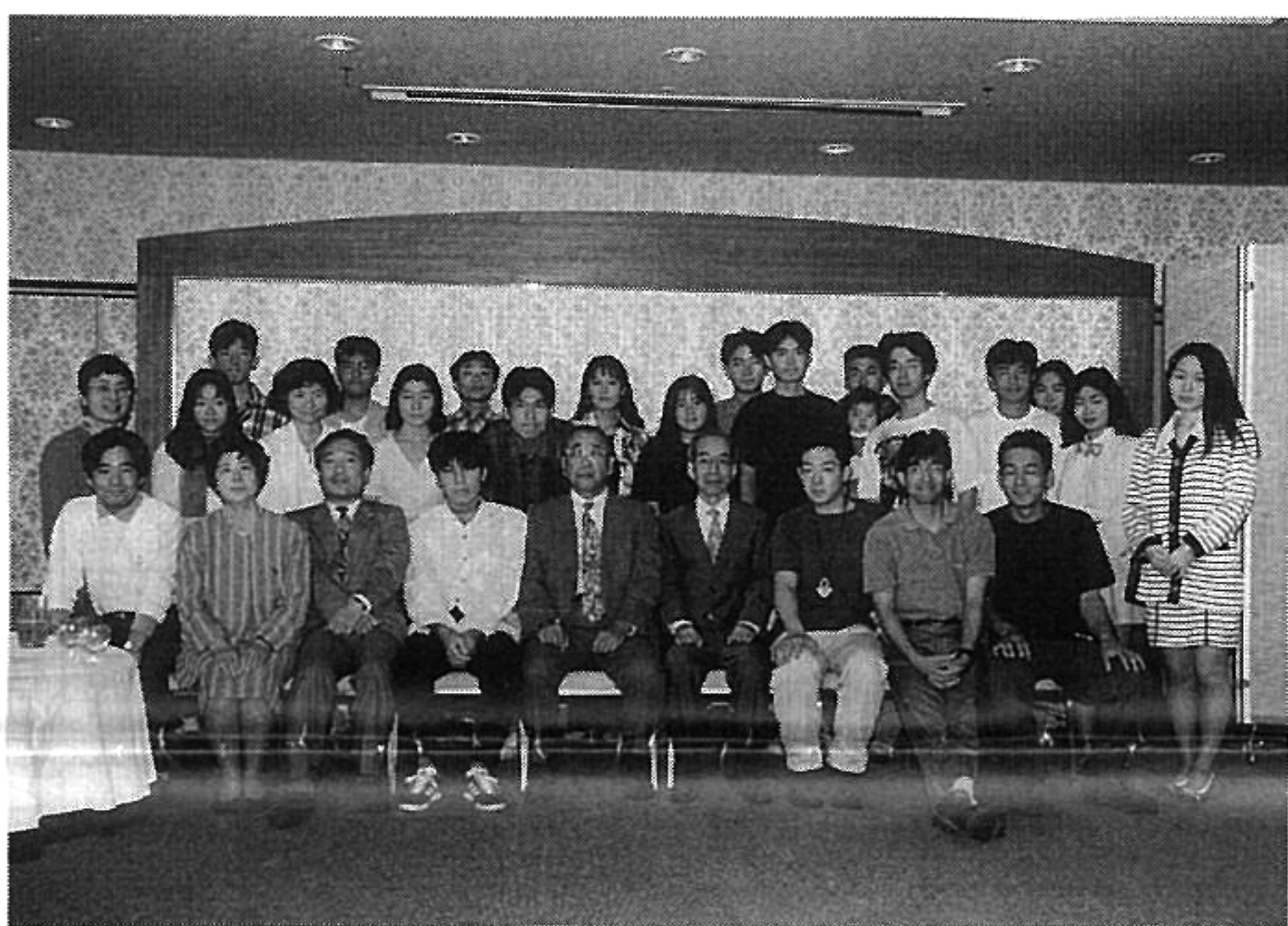
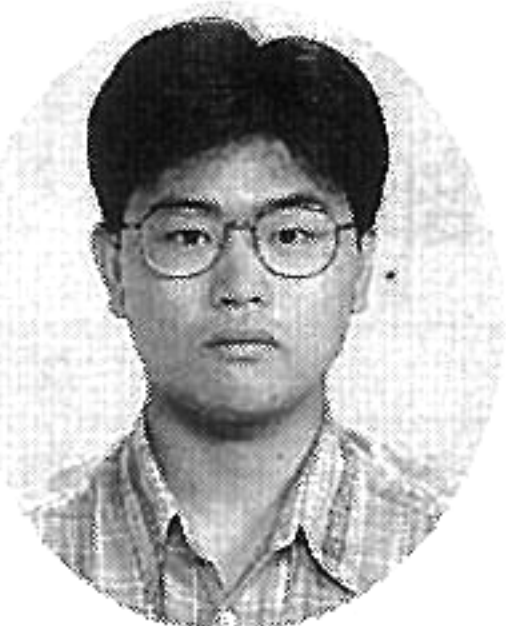
第四回総会開催される

平成六年度の同窓会総会は、さる六月五日、瀬田アーバンホテルに三十余名の人数を集めて行われた。総会にはまず西堀会長の挨拶に続き、会計代行の平本絵里奈氏から平成五年度決算報告と六年度の予算案の説明が行われ、それぞれ原案通り承認された(五年度決算、六年度予算)に関して、本年は役員改選の年に当たっているため、第二代会長に四期生の内田和宏君、副会長に四期生の久保直美さんと一期生の西堀大介君を選出した。なお、他の役員は左記の通りである。(任期は三年。敬称略)

- 会長 内田和宏(四期)
- 副会長 久保直美(四期)
- 書記 西堀大介(一期)
- 書記 片岡志保(四期)
- 会計 平本絵里奈(三期)
- 会計監査 小川将弘(二期)
- 北川美紀(四期)

内田和宏氏の話

このたび、私は、西堀先輩の後を受けまして、同窓会はその後懇親会に移り、初代校長の寺西先生の音頭により母校と同窓会の益々の発展を祈念して乾杯の後、休日にもかかわらずわざわざお越しいただいた、三代目校長の宇部先生、



市吉先生のほか、安藤、押山、田中、西浦、松浦、白石の各先生を囲んで、昼食を共にしながら懇親を深めた。

世界へ向かって

前会長 西堀大介



同窓生の皆様には、益々ご健勝にて御活躍のこととお慶び申し上げます。本年、同窓会は第四期の卒業生百五十七名を迎え、会員数は合計五百名を超えました。そして今回、特筆すべきことは、その卒業生の中に、母校中学校の一期生が半数おられると言うことです。

以前、母校は新しいステージを迎えた、と言うことを申し上げましたが、本年の高校入試において、母校が千八百六十名の、県下の受験生を集めた、と言うことをお聞きしました。ま

我々役員一同は本年で任期が切れまして、新役員の方々に託して、新役員の方々が、今後別の面から母校のために尽していきたいと思っておりますので、よろしくお祈り致します。



「明るい希望をもって」今、学校は

校長 押田和男



同窓会も新しい四期生を迎えて五・五名にふくれ上がりました。人が増えていきますと、活気が湧き盛んになります。同窓会のま

すますの発展を期待して、去る六月五日の総会には急ぎ目の具合が悪くなり、残念ながら欠席させて頂き失礼致しました。出席者の名簿を白石先生から見せて頂き、一期生から四期生までの皆さんが、試験会場も本校以外に草津市役所の大会議場を借りて実施しました。お陰で入学生も大幅に増え、学校全体として九八

七名、二六学級となり、六四名増、二学級増と千名近い学校になりました。又本年九月四日にはJR琵琶湖線に「南草津駅」が開業する運びとなり、生徒の通学には大変便利となります。しかし、バブルの崩壊の波が私学にもうち寄せ、三年先には吸収されたり立ち消える学校も出るだろう

と言われる。私達はこれを謙虚に受けとめ、本校の建学の精神や教育方針に基づき、過去から歩んで来たあらゆる教育活動を見直し、今年度は一生懸命やればやり甲斐のある学校、個性豊かな教育が受けられる学校にするため、

一、今までの類別・コース制を改善しました。来年度は更に改善します。二、週二時間のオーラルコミュニケーションの内、一時間を本校教師と米人教師

五、クラブ(部)活動を活発にして、生徒間・生徒と教師間の人間関係や信頼関係を深め、やり甲斐や満足感によって教科の学習につながる指導に努めています。以上、今年の主な取り組みについて述べましたが、卒業生の皆さんには在校生に対して、よき範となつて機会ある度に激励とご指導の程よろしくお祈り申し上げます。卒業生諸君の益々の御発展とご健康をお祈り申し上げます。



湖からの風が聞こえる。

ニュー・アーバン・ロケーション
SETA URBAN HOTEL



瀬田アーバンホテル

〒520-21 大津市大萱1丁目16-1(JR瀬田駅前) TEL(0775)43-6111(代) FAX(0775)43-6002